

ごみ処理基本計画に係る施策見直しの観点（検討例）

ごみ処理基本計画の施策の見直しについては、目標値の検討に併せて、平成28年度までの残計画期間において取り組むべき内容を施策に反映させる必要があります。

については、次の3つの観点から洗い出しを行い、現計画の施策を見直します。

1 <<達成した施策>> ○現基本計画の具体的施策の内、既に達成済みの施策内容を見直します。

【検討例】

施策No.	具体的施策	達成内容
3.4.1	災害ごみ処理実施計画の策定	平成25年3月に「長野市災害廃棄物処理計画」を策定済み
※ 策定した「長野市災害廃棄物処理計画」について、「具体的施策」及び「施策内容」をどのように設定していくか検討する必要があります。		

2 <<施策内容の修正>> ○現基本計画の具体的施策の内、修正する必要がある施策内容を見直します。

【検討例】

施策No.	具体的施策	修正理由
4.2.1	ごみ通信等の広告媒体としての活用の検証	ゴミ通信に掲載する広告主への反響がなく、広告媒体としての価値の検討が必要

3 <<新たに進める必要がある施策>> ○目標を達成するために、新たな具体的施策を設定します。

【検討例】

目的	着眼点
ごみ減量が停滞している家庭系可燃ごみの削減を図る	可燃ごみに含まれる生ごみの自家処理対策については各種事業を展開しているが、生ごみ自体の発生を抑制させる具体的な施策が必要ではないか。
家庭系不燃ごみの削減とリサイクル率の増加を図る	小型電気機器のリサイクルを一つの施策に取り上げ、重点的に推進すべきではないか。
増加傾向にある事業系ごみ総排出量の削減を図る	事業ごみの内、可燃ごみの増加が全体を押し上げていることから、可燃ごみの発生を抑制する具体的な施策が必要ではないか。